

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	広島作業所
住 所	広島市西区商工センター8丁目3-35
電話番号	082-277-4361

事業所番号	3410201184
管理者名	河内 輝
対象年度	令和6年度

(I) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		30
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満	○	点
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

（Ⅱ）生産活動		
①過去３年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	60

（Ⅲ）多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		0 点
就業規則等で定めている		
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
小計（注1）	1	点

（※）8項目の合計点に応じた点数

（注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	-50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

（Ⅳ）支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		0 点
参加した職員が1人以上参加している		
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合		
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	1	点
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

（Ⅴ）地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している		0 点
1事例以上ある場合：10点		

（Ⅵ）経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出していない。	○	0 点
期限内に提出していない場合：-50点		

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

合計
100 点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（R6年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	18,598	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4,657	人	利用者の1日の平均労働時間数	3.9	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	-----	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（R4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	17,720,574	円	利用者に支払った賃金総額	17,718,800	円	収支	1,774	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-------	---

前々年度（R5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	18,379,178	円	利用者に支払った賃金総額	18,379,178	円	収支	0	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---	---

前年度（R6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	20,046,432	円	利用者に支払った賃金総額	20,046,432	円	収支	0	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	☐
------------------------------	--------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	☐
------------------------	--------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☐
-------------------------------	--------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☐
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	☐
---------------------	--------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☐
----------------------	--------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☐
-----------------------	--------------------------

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	☐
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	☐
※研修名	
研修講師	
実施日・受講者数	月 日 人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☐
※研修、学会等名	
実施日	月 日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	☒
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☐
※先進的事業者名	清風会
実施日/参加者数	12月 6日 1人
※他の事業所名	
実施日/参加者数	月 日 人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	☐
※商談会等名	
主催者名	
日時	月 日
内容	

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	☐
◎当該人事評価制度を周知している	☐
人事評価制度の制定日	年 月 日
人事評価制度の対象職員数	名
うち昇給・昇格を行った者	名
当該人事評価制度の周知方法	

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☐
※配置期間	月 日～月 日
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	☐
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

(Ⅵ) 経営改善計画

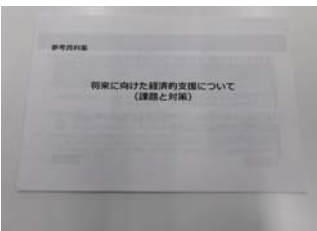
◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	☐
※受理日	年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	広島作業所	事業所番号	3410201184
住 所	広島市西区商工センター 8 丁目 3 - 3 5	管理者名	河内輝
電話番号	082-277-4361	対象年度	令和 6 年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> (活動場所) 明比ビル一階 (実施日程) 令和 7 年 3 月 5 日 (実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要) 就労継続支援 A 型利用者の金銭管理について (利用者数) 8 名	<活動の様子>    
<目的> 社会福祉士/社会保険労務士のアドバイスを聞き、 将来を見据えた金銭管理の必要性について理解する。 金銭管理の際利用者が使える制度を理解する。	
<成果> (得られた成果) 各利用者が今まで漠然としていた金銭面の課題について理解することができた。金銭収支を把握することの大切さや、困った時は専門家などに相談することを学べた。 (課題) 経済情勢や制度の変化に対応すべく毎年続ける必要がある。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<連携した結果に対する意見または評価> 障害のある方に限らず、日常生活を安定して送るためには金銭の管理はとても大切です。障害のある方は特に、自分はいくらの収入があり、いくら支出があるのかといった収支の把握が難しい方が多いのが実情です。自身で収支の把握が難しい方は信頼のおける親や兄弟、かけはし等の機関に相談し、まずは、自身の収支をしっかりと把握し、自身が短期、中期、長期の見通しを立てて使える制度を活用しながら、安心して日常生活を送れるようにして頂けたらと思います。 <今後の連携強化に向けた課題> 個々の考えや家庭、経済状況も様々な為、個々に応じた金銭の管理について対応する必要があります。	連携先企業 (担当者) テクタス社会保険労務士法人 障害年金窓口「つむぐ」
--	---

利用者からの意見・評価

<参加した利用者からの意見・評価> 研修をうけてよかった。自分がどれくらいお金をもらっているか、自分がお金をどれくらいつかっているか調べるのが大切。将来の事を保護者もしくは後見人とよく話し合う。将来の為お金を貯めるのが大切。専門家にアドバイスをしてもらうのが大切。
--